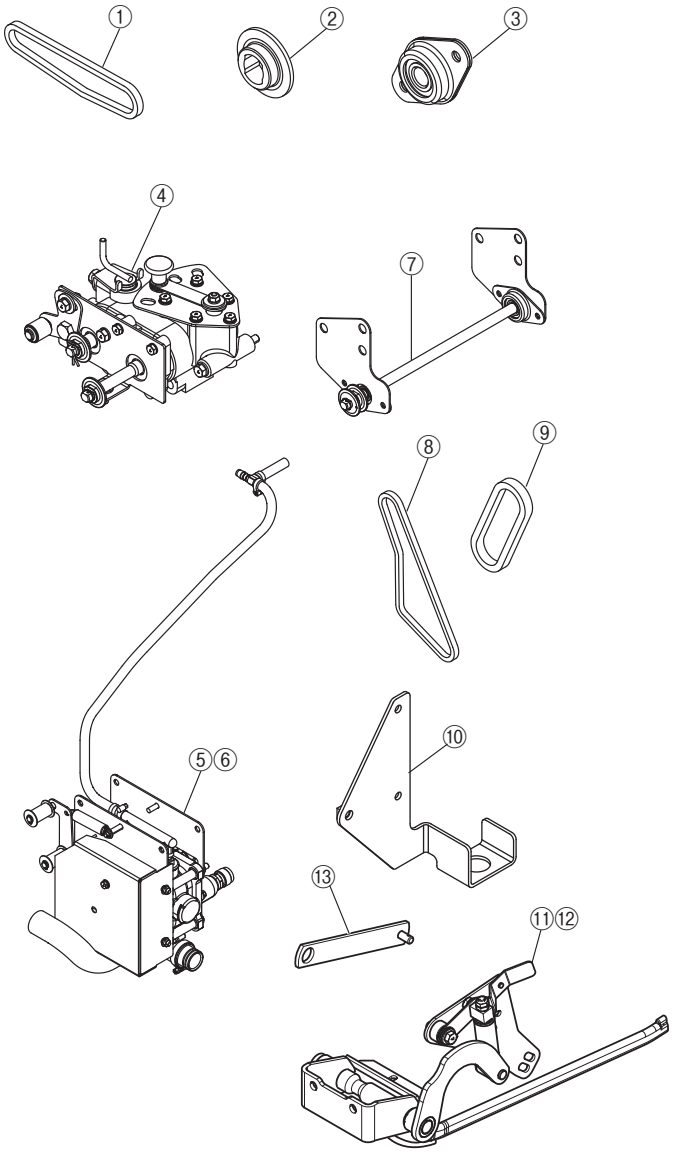
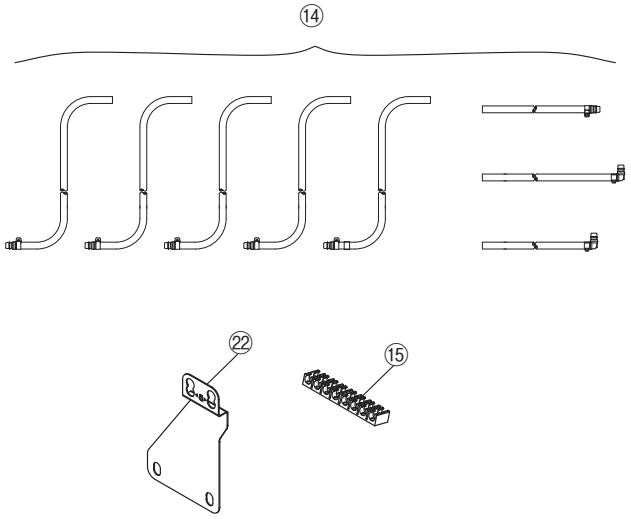
ペースト二段施肥機　PSTW-E5・E6型　取付け要領書

No.042602-26051856003

1．キット部品の確認

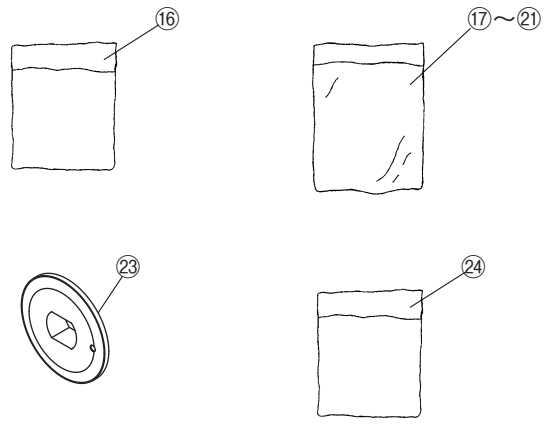
（一覧表と部品を照らし合わせてください。）



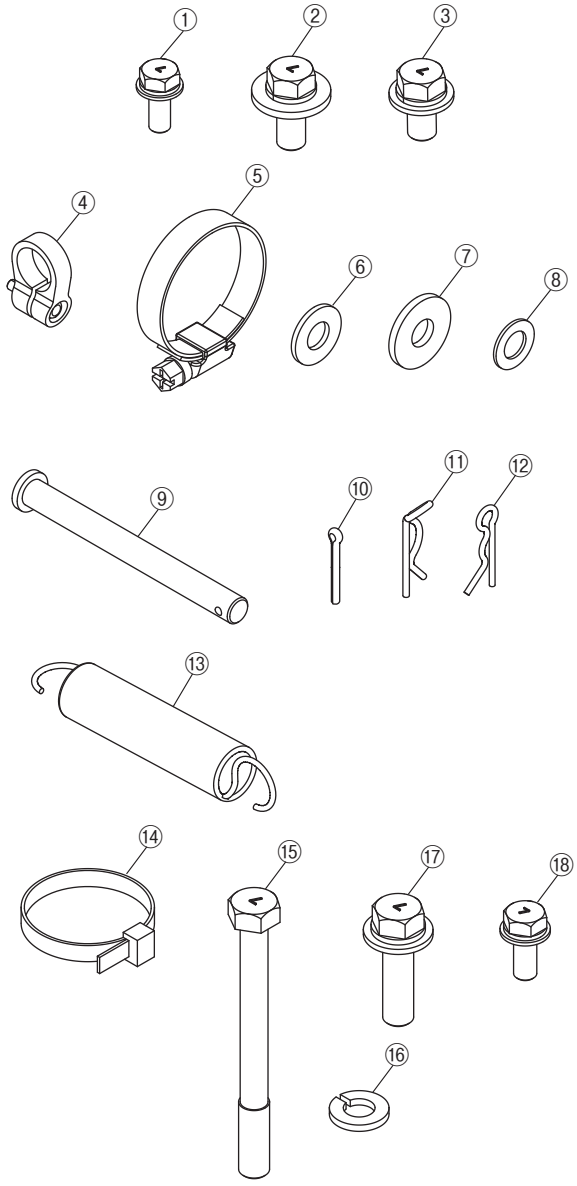


キット部品一覧表

部品名称			個数 5条型	個数 6条型
ＰＴＯ	チェン，60Ｌ	①	1	1
	スプロケット12Ｔ	②	1	1
	ベアリングホルダ	③	1	1
変　速	変速ケース組立品	④	1	1
ポンプ	ポンプ組立品Ａ	⑤	1	－
	ポンプ組立品Ｂ	⑥	－	1
	シャフト（ベアリング付き）	⑦	1	1
	チェン，78Ｌ	⑧	1	1
	チェン，36Ｌ	⑨	1	1
	ドレンホースガイド	⑩	1	1
ノズル	ノズル組立品Ａ	⑪	1	－
	ノズル組立品Ｂ	⑫	2	3
	アーム	⑬	2	2
パイピング	各種ホース	⑭	8	8
	ホルダ	⑮	－	1
取付部品	各種ボルト，ナット，バンド類	⑯	一式	一式
その他	施肥量マーク	⑰	1	1
	ネームプレート	⑱	1	1
	注意マーク	⑲	1	1
	取扱説明書	⑳	1	1
	取付要領書	㉑	1	1
	ノズルゲージ	㉒	1	1
LV63用部品	スプロケット　16Ｔ	㉓	－	（1）
追加部品	各追加プレート，取付ボルト	㉔	一式	一式

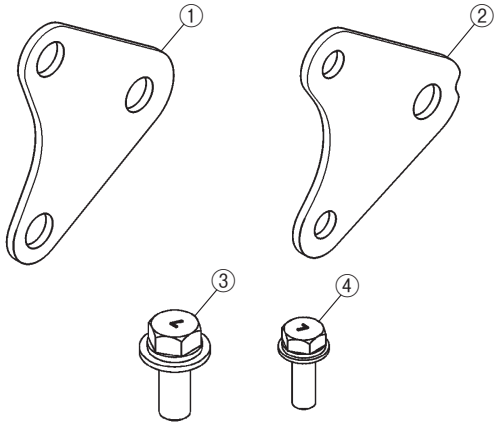


・取付部品⑯の内訳



No.	名称	サイズ	個数	
			5条型	6条型
①	ボルト	M6×16	2	2
②	ボルト	M8×20	5	5
③	ボルト	M8×16	4	4
④	ホースクランプ		1	1
⑤	ホースバンド		1	1
⑥	ワッシャ	φ18×t1.6	3	3
⑦	ワッシャ	φ22×t2.3	5	5
⑧	ワッシャ	φ15×t1.0	1	1
⑨	ヒラアタマピン	φ8×89	2	3
⑩	割ピン	φ2.5×16	1	1
⑪	スナップピン		1	1
⑫	スナップピン		6	5
⑬	スプリング		1	1
⑭	ワイヤバンド		1	1
⑮	ボルト	M8×80	1	1
⑯	バネ座金	M8用	1	1
⑰	ボルト	M8×30	6	6
⑱	ボルト	M6×16	3	3
⑲	ピン	φ8×130	1	−
⑳	カラー		1	−
㉑	ホースクリップ		6	6
㉒	ゴムワッシャ	φ24×t3.0	2	2

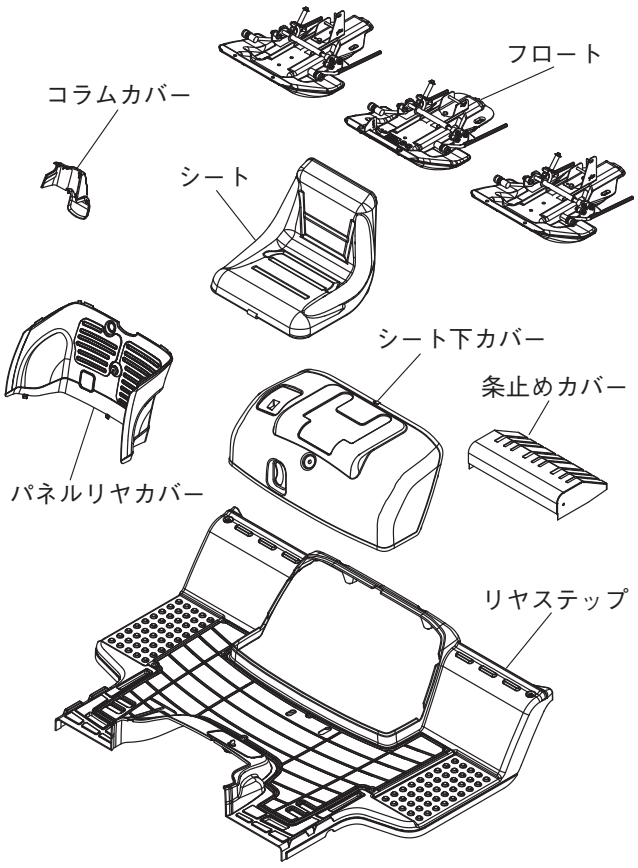
・取付部品㉔の内訳



No.	名称	サイズ	個数	
			5条型	6条型
①	プレート		3	3
②	プレート		3	3
③	ボルト	M8×20	6	6
④	ボルト	M6×20	6	6

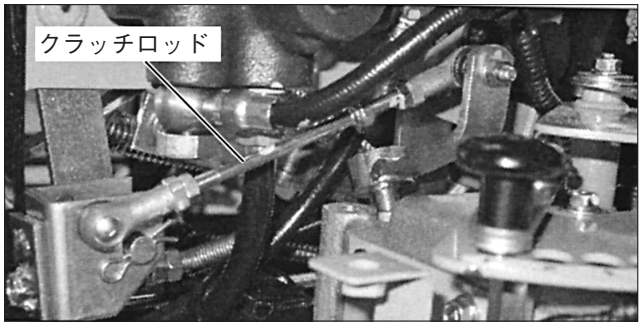
2. 本機の準備

❶コラムカバーを取外します。
❷パネルリヤカバーを取外します。
❸シートを取外します。
❹シート下カバーを取外します。
❺リヤステップを取外します。
❻条止めカバーを取外します。
・大きなノブ（３個）を外して下さい。
❼フロート（３個）を取外します。
※取外したノブ等は，無くさないように注意して下さい。

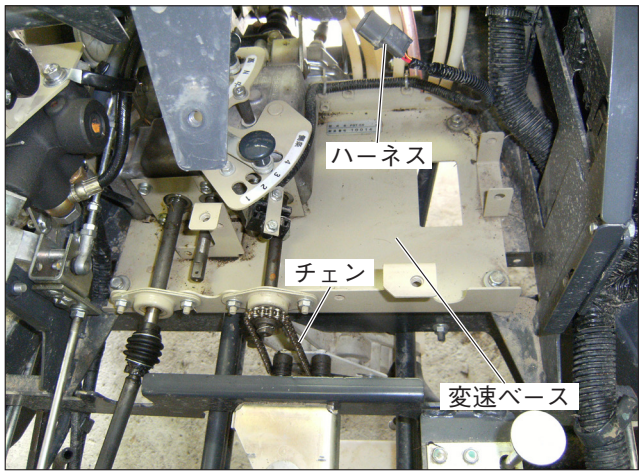


3. 側条ペーストの取外し

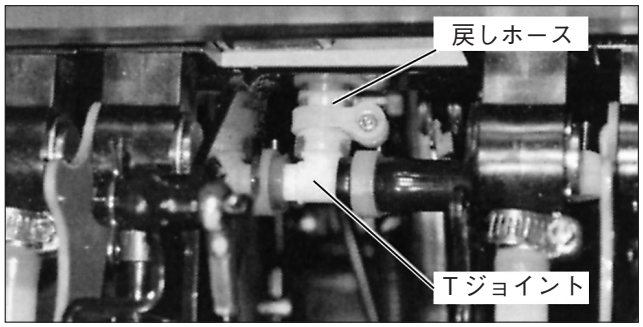
❶ＰＴＯクラッチロッドを取外します。（片側で構いません。）



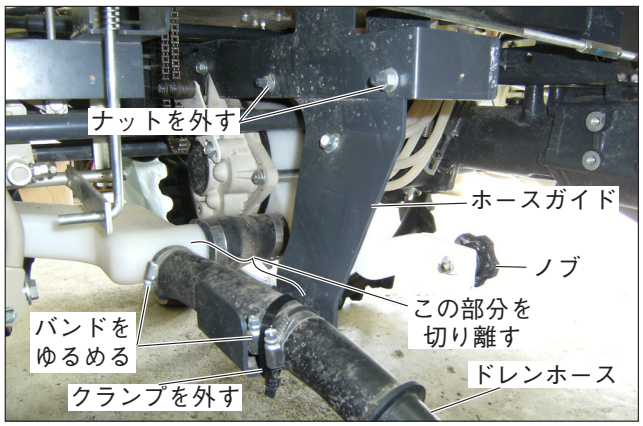
❷変速とポンプをつなぐチェンを外し，変速ベースをフレームから取外します。（電装のハーネスを外して下さい。）



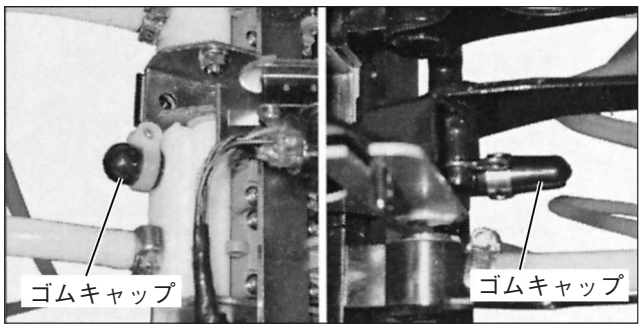
❸ポンプの戻しホースを，インジケータ下のＴジョイント部で取外します。



❹サブタンク横のドレンホースを取外します。
❺ホースガイドを外します。
（LV63A型以外の型式の場合はホースガイドからノブを外しておきます。）

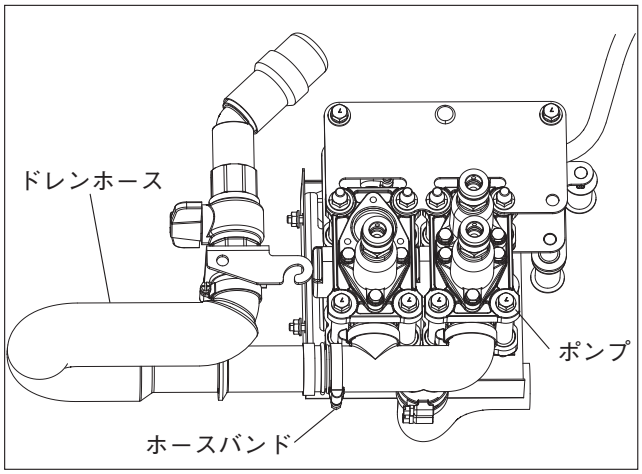


❻インジケータの空きセンサに取付けてあるゴムキャップを取外します。



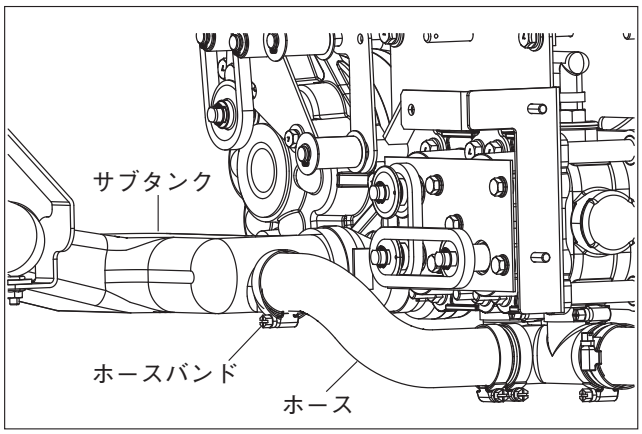
4．ポンプの取付け

❶ドレンホースを，ホースバンドを使ってポンプに取付けます。

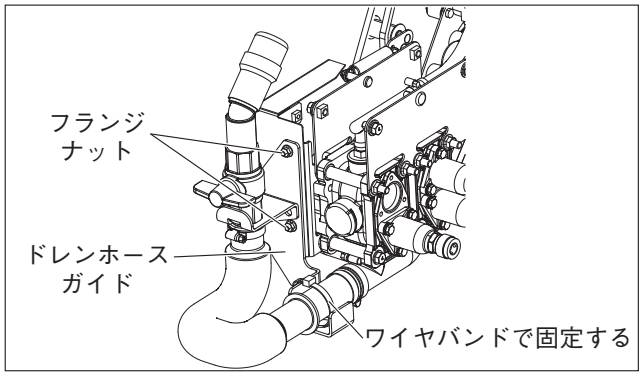


❷ポンプをフレームの後ろから引っかけて，Hボルト（M８×16）で取付けます。

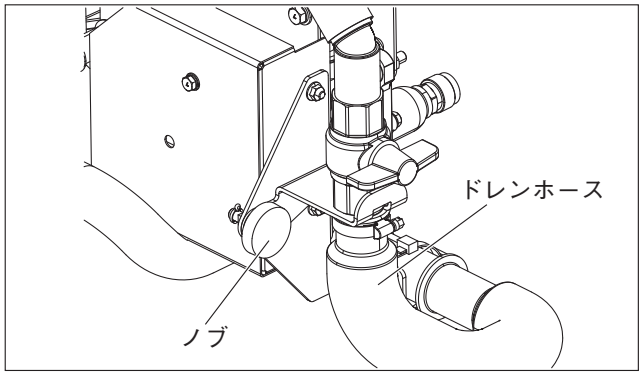
❸サブタンクとポンプを，ゴムホースでつなぎ，ホースバンドで締付けます。



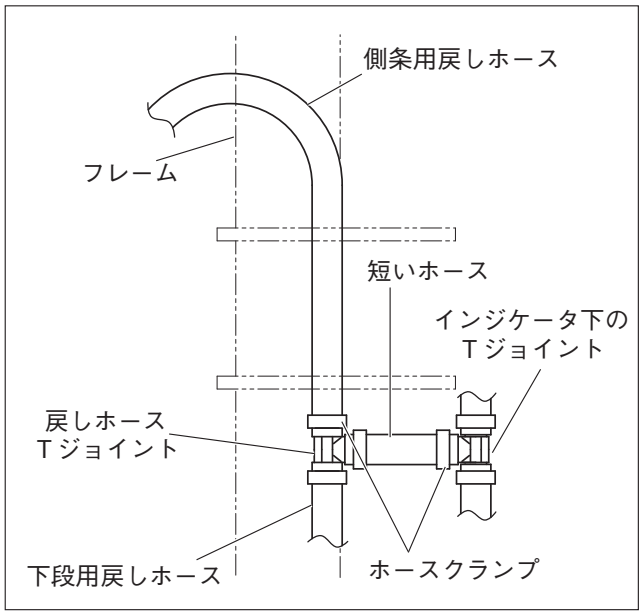
❹ドレンホースガイドをフランジナットでチェンカバーに共締めます。（ドレンホースガイドが水平になるように取付けます。）ドレンホースをドレンホースガイドにワイヤバンドで固定します



❺ＬＶ63Ａ以外の型式では，ドレンホースガイドから外しておいたノブを新しいドレンホースガイドに取付けてドレンホースを固定します。



❻戻しホースＴジョイントの短いホースを，インジケータ下のＴジョイントにホースクランプで取付けます。戻しホースＴジョイントの一方に側条用戻しホースをホースクランプで取付けます。



5．変速ケース，ＰＴＯの取付け

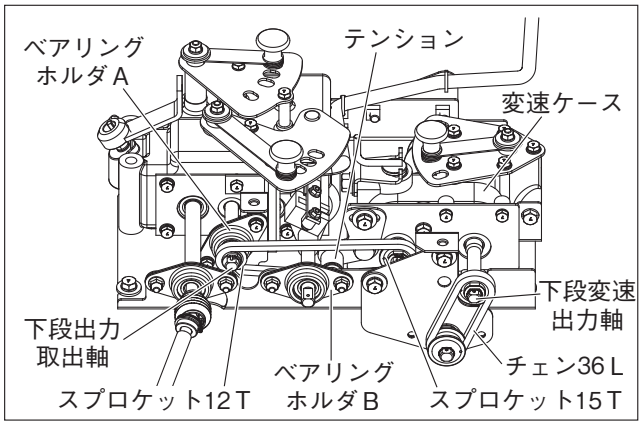
❶変速ケースを，側条変速の付いているベースにＨボルト（M8×20），ボルト（M8×80)・Ｓワッシャで取付けます。

❷下段出力取出軸にベアリングホルダＡを通し，Ｈボルト（M6×16）で取付けます。

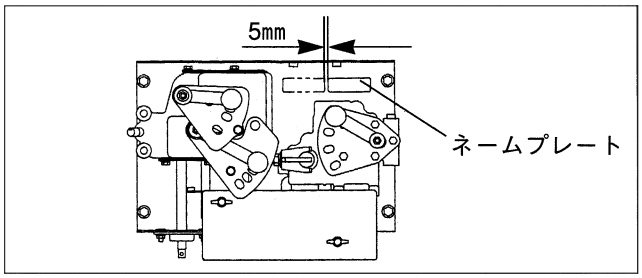
❸側条変速出力軸のベアリングホルダＢを外し，隙間からチェン，60Ｌを通し，再びベアリングホルダＢを取付けます。

❹下段出力取出軸にスプロケット12Ｔをスナップピンで取付け，下段出力取出軸（スプロケット12Ｔ）と下段変速入力軸（スプロケット15Ｔ）とをチェン，60Ｌで結び，テンションを張ります。

❺下段変速出力軸とベアリングホルダ付きのシャフトにチェン，36Ｌを掛け，ベースにボルト（M8×20，大径ワッシャ付）で取付けます。チェン，36Ｌが張る状態でボルトを締付けて下さい。

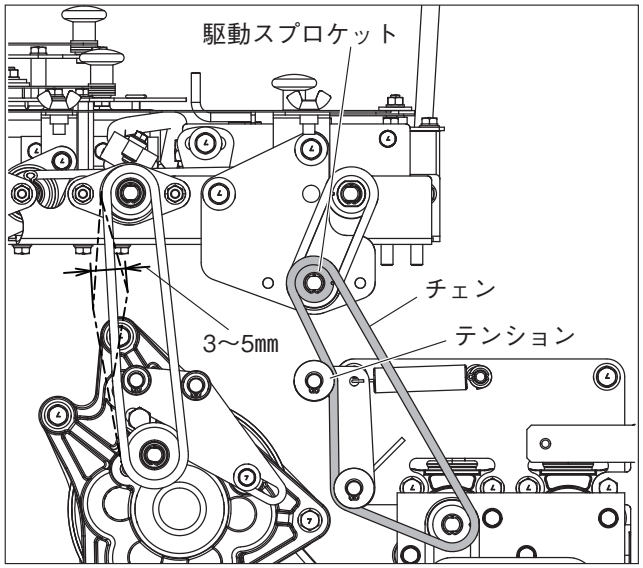


❻ベースにネームプレートを貼り付けます。



❼変速ケースを，ボルト（Ｍ８×25，大径ワッシャ付き）でフレームの上に取付けます。このとき，ＰＴＯのスプラインシャフトを変速入力軸に接続しておきます。（スプラインジョイント部にはグリスを塗布します。）

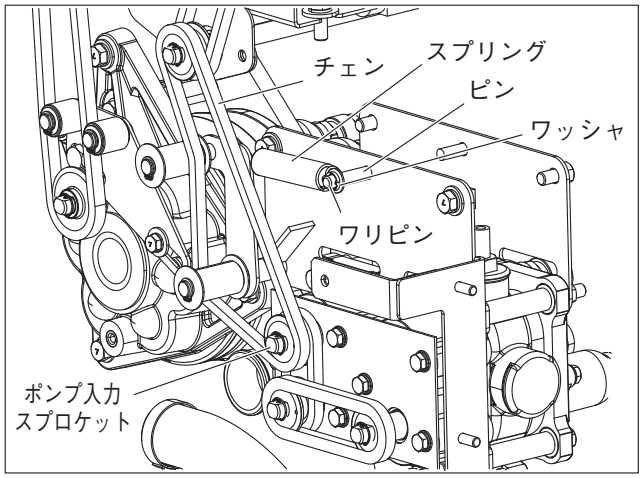
❽変速出力軸（スプロケット15Ｔ）と側条用ポンプをチェンでつなぎ，テンションをナットで固定します。このときチェンがきつく張り過ぎないように注意します。（指で押して３～５㎜程度たわむようにします。）



❾駆動スプロケットと，下段用ポンプ入力スプロケットにチェンを掛け，テンションでチェンを張ります。

・テンションスプリングの片方はテンションに，もう片方はポンプ取付ボルトの間にあるピンに掛けます。

・ピンの先端にワッシャを入れ，ワリピンで止めます。



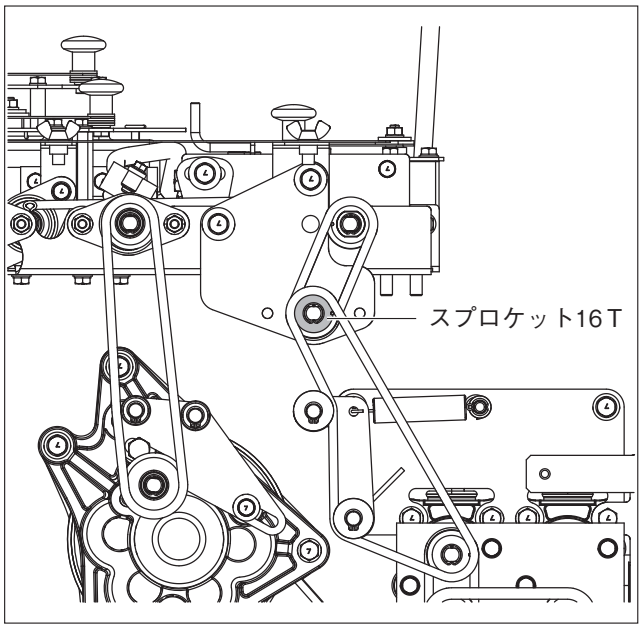
⑩ＬＶ63型に本ペースト二段施肥機キットを取り付ける場合は，部品の組み替えが必要になります。

・組み替え部品

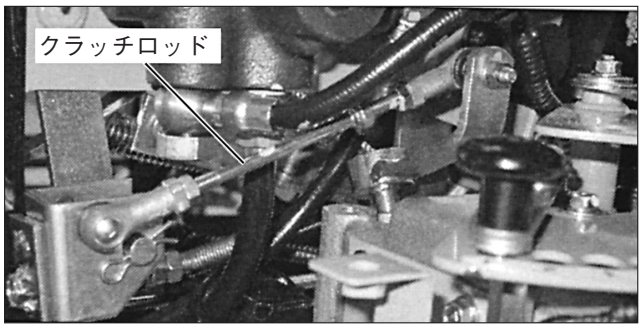
スプロケット15Ｔ→スプロケット16Ｔ

・組み替えが必要なＬＶ63の機体番号 ～11055

11056～の機体番号は部品の組み替えは必要ありません。

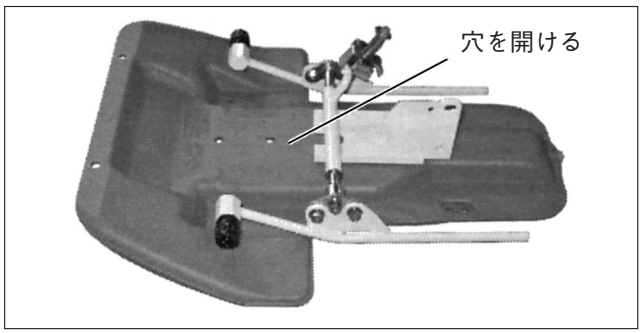


⑪ＰＴＯクラッチロッドを取付けます。（クラッチの調整は最後に行います。）



6．ノズルの取付け

❶フロート中央のくぼみに沿って穴を開けておきます。



❷ノズルの付いたブラケットをプランタケースの前と下に，Ｈボルト（Ｍ８×30）とＨボルト（Ｍ６×16）で取付けます。

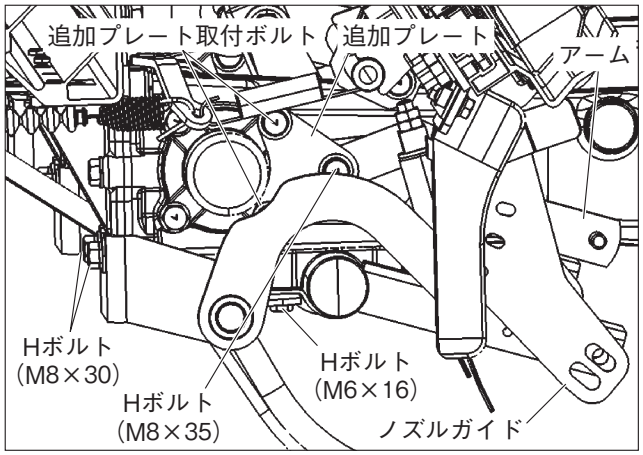
❸ゴムワッシャ，アーム，ノズルガイド，追加プレートをプランタケースの横に取付けます。

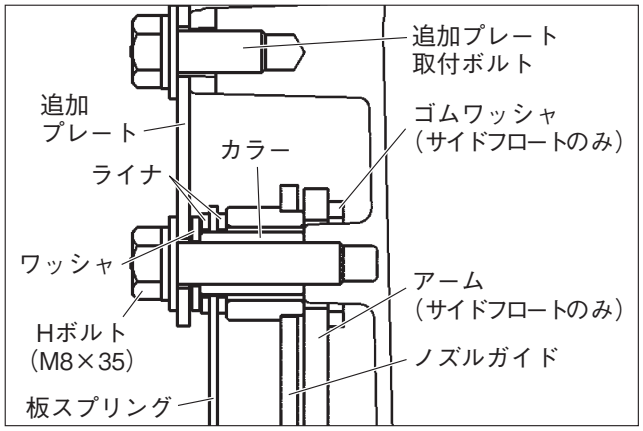
カラーとライナを挟み込まないようにＨボルト（Ｍ８×35）を締めます。

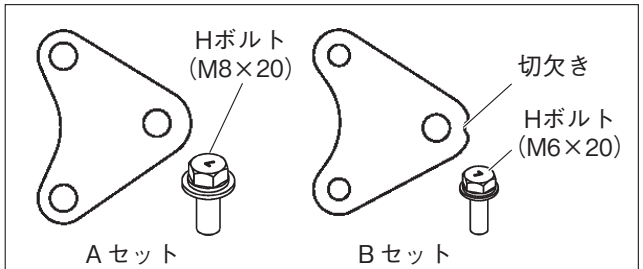
追加プレートはプランターケースホルダ部のボルト２個を外して追加プレート取付ボルトに交換します。

※追加プレートと取付ボルトは田植機の仕様により異なります。

（ゴムワッシャ,アームはサイドフロートのみ）



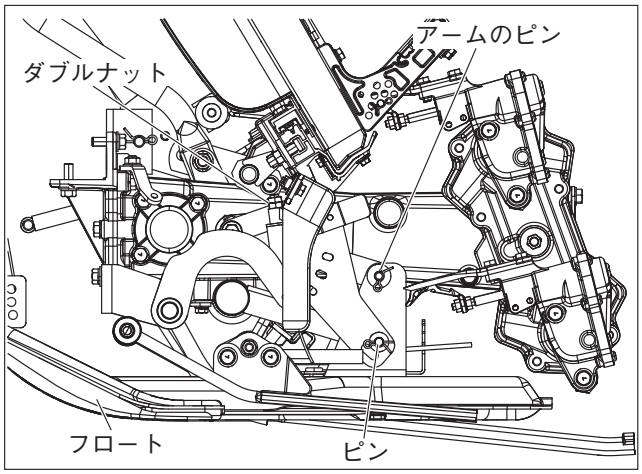


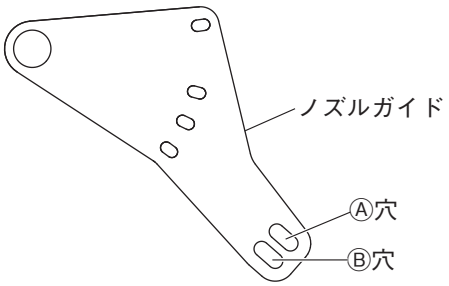


	Aセット	Bセット
ＬＶシリーズ	－	全仕様
ＬＥシリーズ	標準仕様	密植仕様

❹フロートをヒラアタマピンとワッシャ（φ22×t2.3），スナップピンで取付けます。（５条型センターフロートは，ピンとワッシャ（φ22×t2.3），スナップピンで取付け）

このときアームのピンも一緒に取付けてください。



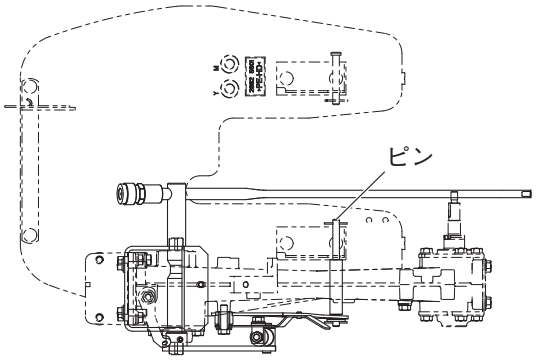


フロート取付穴位置は下表としてください。

	Ⓐ穴	Ⓑ穴
ＬＶシリーズ	－	全仕様
ＬＥシリーズ	標準仕様	密植仕様

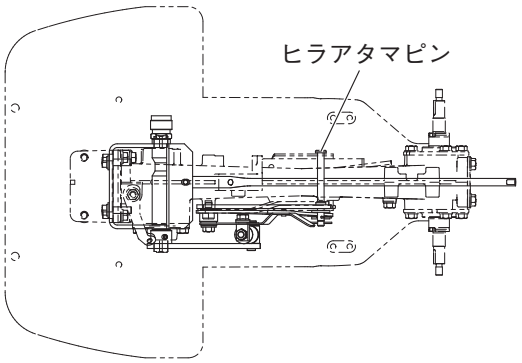
下段用ノズル取付図

［５条型センターフロート部］



［５条型サイドフロート部］

［６条型］



2605W102

7．ホースの配管

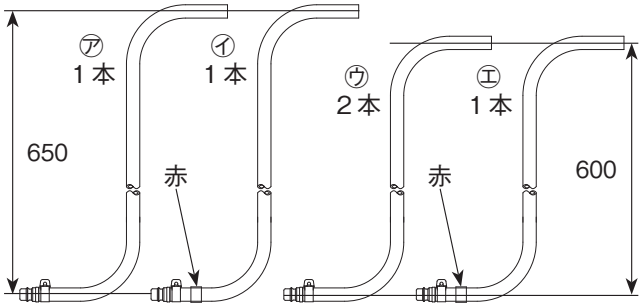
❶インジケータの入口にホースを配管します。それぞれ長さが異なるので，注意してください。配管の順序は９～10ページを参考にして下さい。

❷ポンプのカプラとホースを接続します。配管の順序は９～10ページを参考にして下さい。

❸インジケータの出口にホースを配管します。それぞれ長さが異なるので，注意して下さい。配管の順序は９～10ページを参考にして下さい。

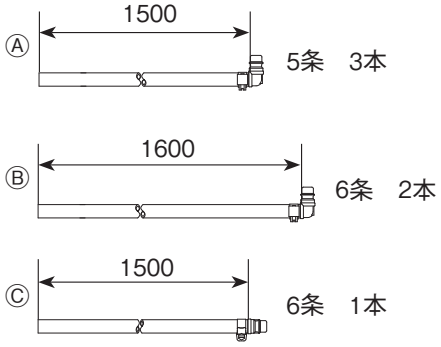
❹配管のホース

（ポンプ～インジケータ）



	①ホース	②ホース	③ホース
ＬＶシリーズ	㋐	㋑	㋒
ＬＥシリーズ	㋒	㋓	㋒

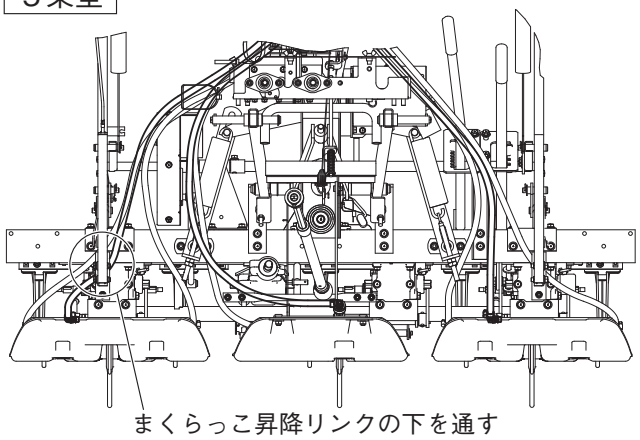
（インジケータ～ノズル）



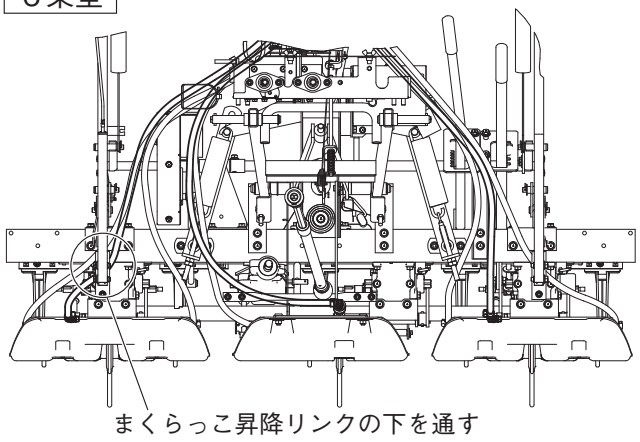
	①ホース	②ホース	③ホース
５条型	Ⓐ	Ⓐ	Ⓐ
６条型	Ⓑ	Ⓒ	Ⓑ

❺ホースの通し方（前方より見た図）

５条型



６条型

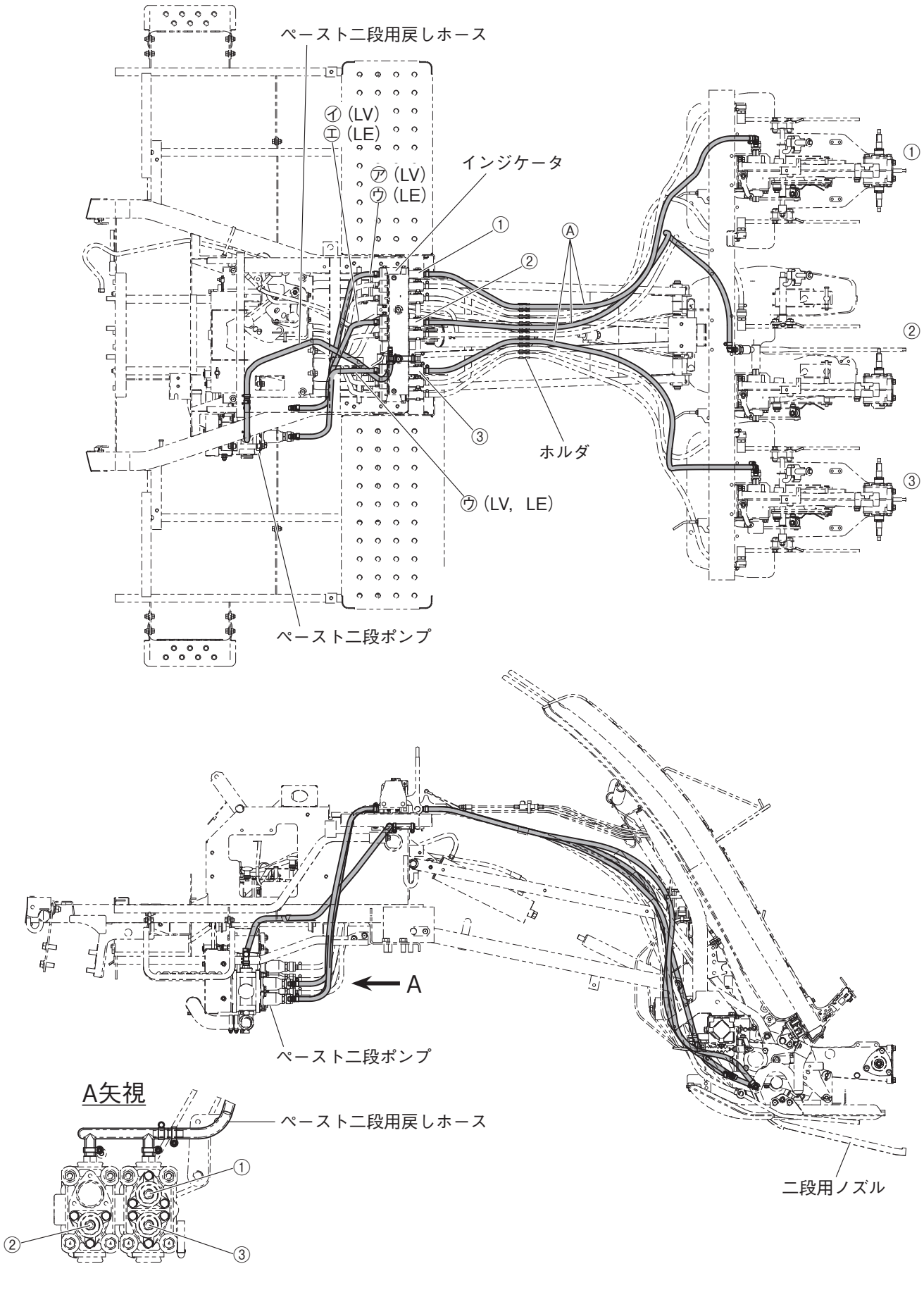


❻ノズルのカプラにホースを配管します。

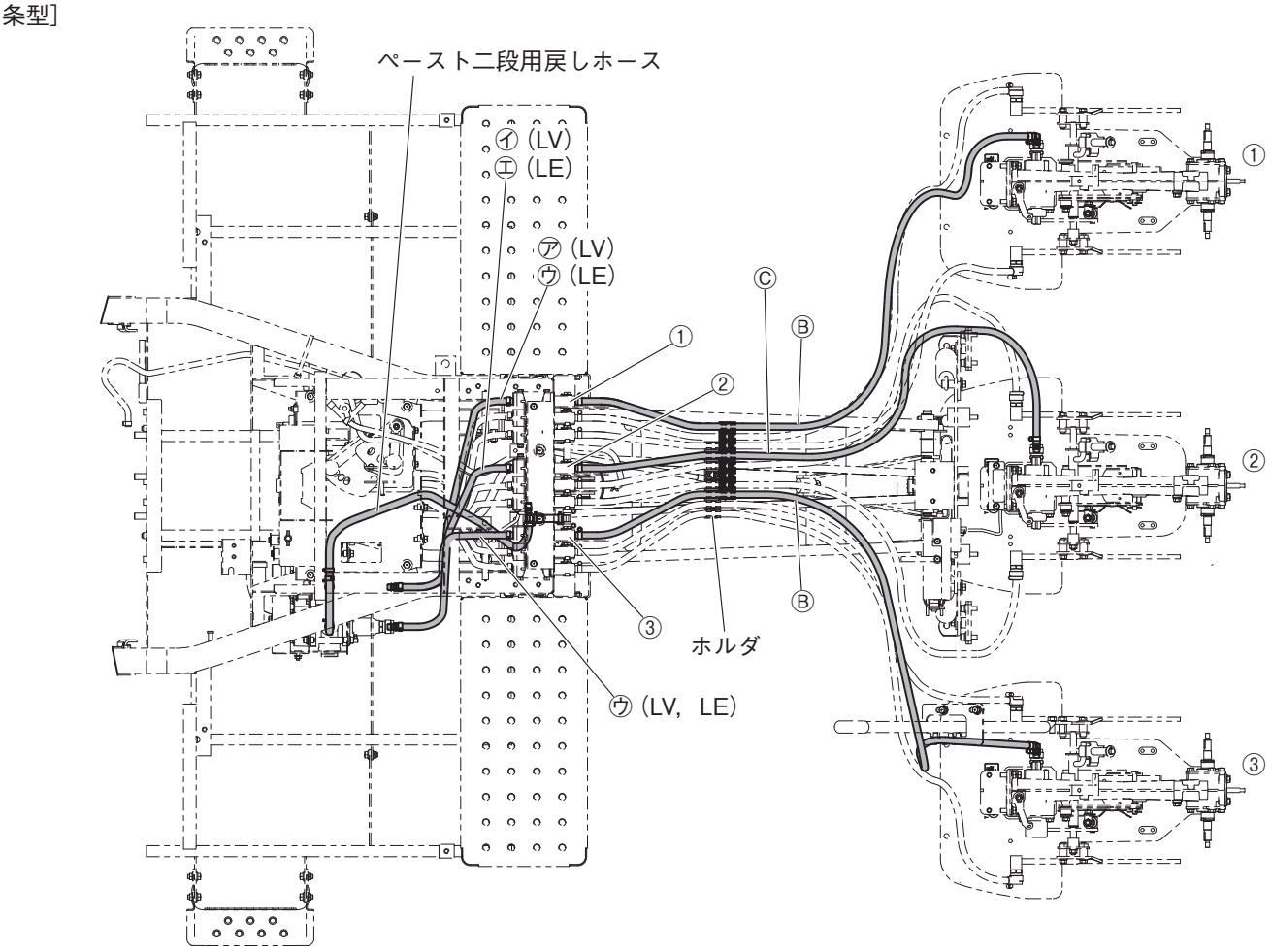
❼植付部をゆっくり上下させ，ホースの長さが適切かまた，ホースに引っかかりやねじれがないか確認します。

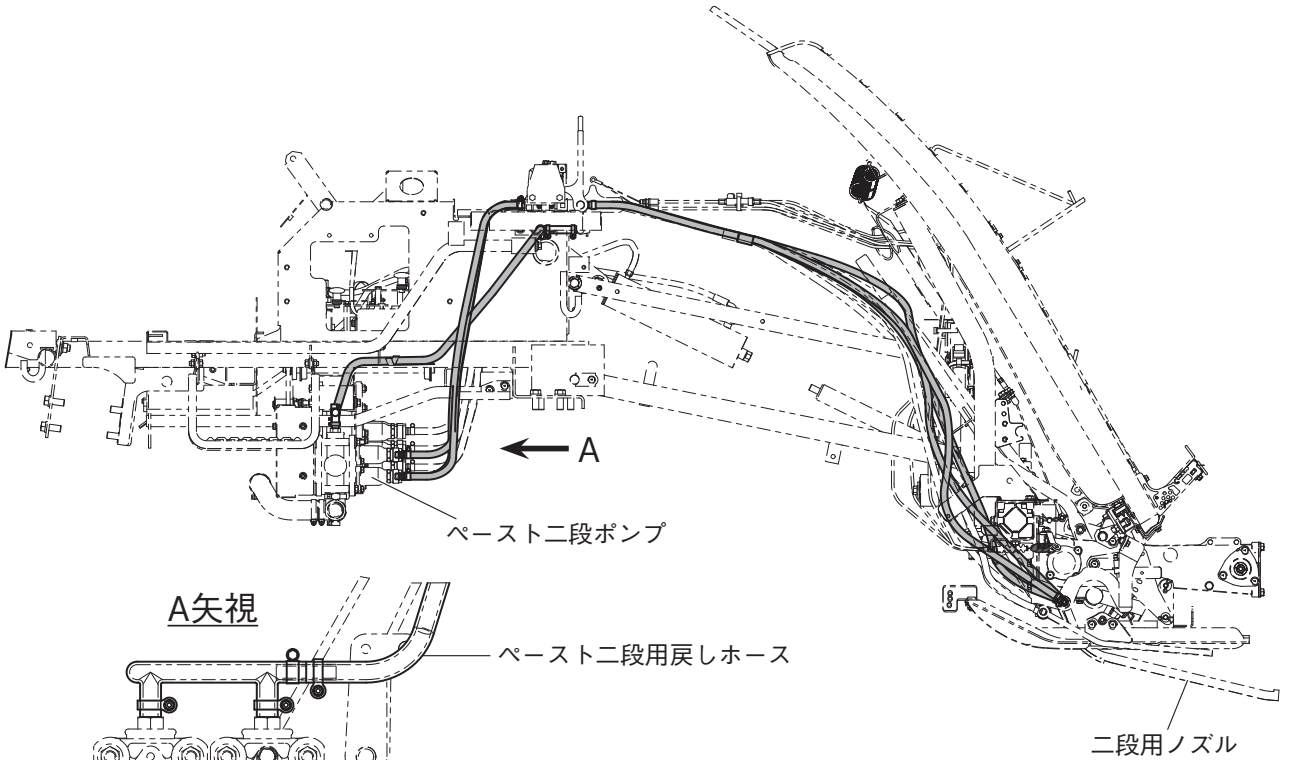
8. 配管図

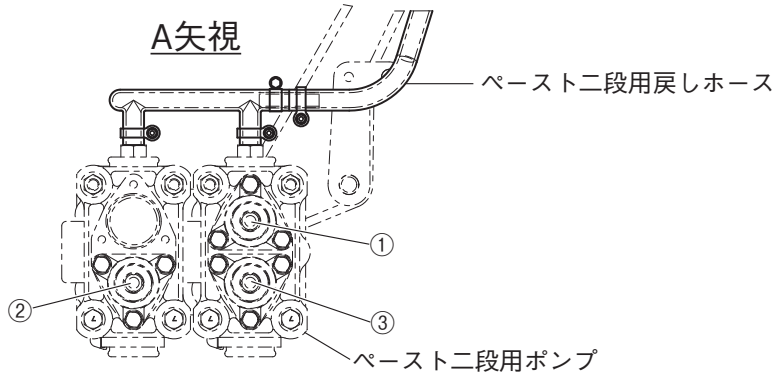
［5条型］


ペースト二段用戻しホース
㋑ (LV)
㋓ (LE)
㋐ (LV)
㋒ (LE)
インジケータ
①
②
Ⓐ
③
ホルダ
㋒ (LV, LE)
ペースト二段ポンプ
①
②
③
A
ペースト二段ポンプ
A矢視
ペースト二段用戻しホース
①
②
③
二段用ノズル

［6条型］

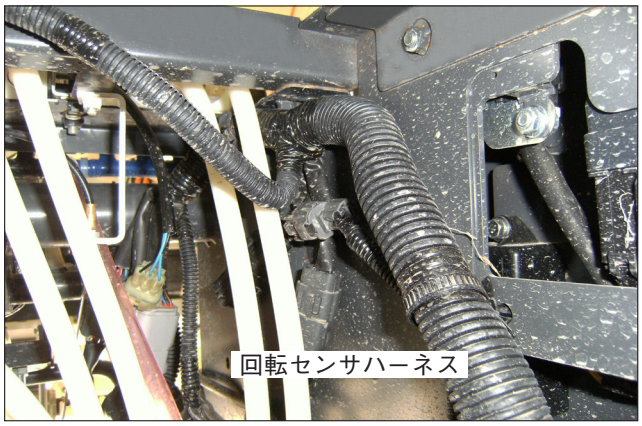

ペースト二段用戻しホース
㋑ (LV)
㋓ (LE)
㋐ (LV)
㋒ (LE)
①
②
③
Ⓒ
Ⓑ
Ⓑ
①
②
③
ホルダ
㋒ (LV, LE)


A
ペースト二段ポンプ
二段用ノズル


A矢視
ペースト二段用戻しホース
①
②
③
ペースト二段用ポンプ

9. 電装関係の取付け

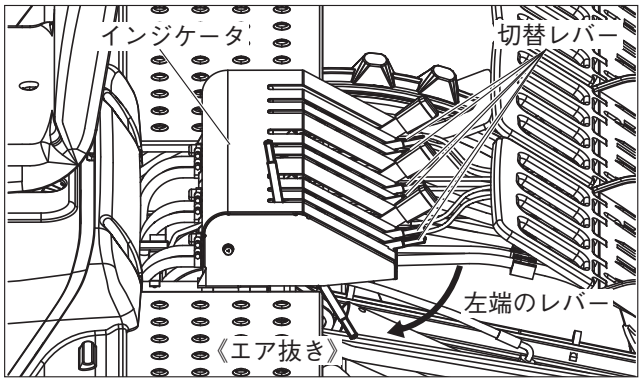
❶変速ケースに取付けてある回転センサのハーネスを，メインハーネスに接続します。



❷回転センサの確認は，ＰＴＯクラッチの調整後，ポンプを回すときにランプが点灯するか確認して下さい。

10. ＰＴＯクラッチの調整

❶調整前に，タンク内に水を入れて下さい。
・インジケータ横の左端のレバーをエア抜き側にセットし，供給後は施肥作業位置に戻します。

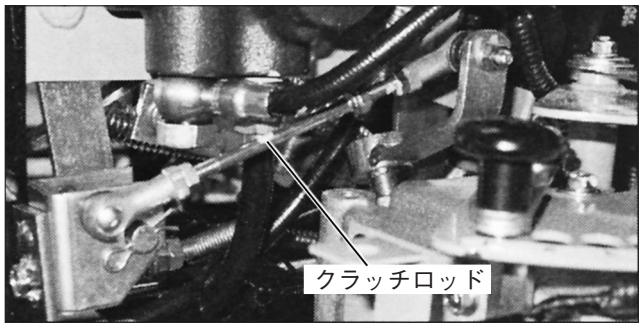


❷クラッチアームとＰＴＯクラッチロッドの接続を外します。

❸本機副変速を「Ｎ」，スロットルを「低速」，ＨＳＴを「前進低速」，ペースト主変速を「１」，ペースト副変速を「低」にしてエンジンをかけ，植付けを回し（掻取り数回程度で構いません。）植付けクラッチが入った状態で警報スイッチを押しながらエンジンを止めます。

❹ＰＴＯクラッチロッドのリンクボールがクラッチアームの穴にスムーズに抜き差しできることを確認します。できないときは，ナットをゆるめ，ロッドを回して長さを調整して下さい。

❺リンクボールをアームに取付けてエンジンを始動し，植付けクラッチに連動してペーストクラッチが動作するか確認します。

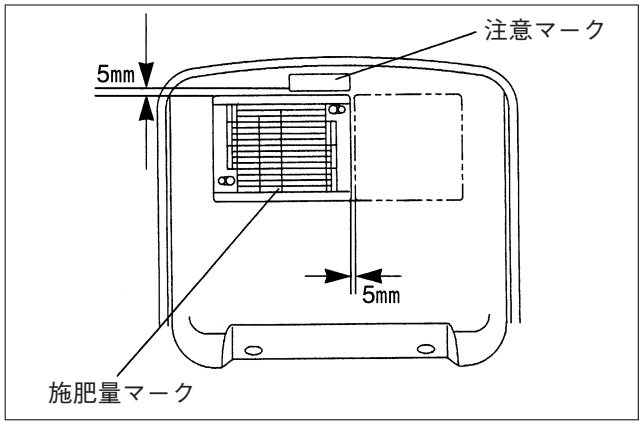


11. 外装の取付け

最初に外した外装を取付けます。

12. マークの貼付け

❶シートの後ろに施肥量マーク，注意マークを貼り付けます。



13. 組立て後の確認

組立て後，次の点を再チェックします。

❶各取付部のボルト・ナット類は確実に締付けてありますか。

❷各ホース・パイプは確実に取付けてありますか。

❸各配線は確実に取り付けてありますか。

❹各ホース・パイプ・配線は作動部に接触していませんか。

❺植付部を上下動させて，インジケータとノズル間のパイプの張り具合等の確認をします。

14. ノズルゲージの使い方

※取扱説明書（手入れのしかた－点検－ノズル深さの点検）を参照下さい。